

平成17年4月1日

# 豊岡市誕生



豊岡市長職務執行者

清水 豊

お互いの歩んできた道を尊重しながら  
心を寄せ合い、力を合わせて魅力的なまちを

平成17年4月1日、新しいふるさと「豊岡市」が誕生しました。

これまでと何ら変わらないように見える日々。しかし、確実に新しいまちの歴史は刻み続けられています。この瞬間に立ち会っている私たちこそが、まちづくりの真新しいページを埋めていくのです。そのことに喜びと責任を感じながら、一日一日を大切に過ごさなければならぬと考えています。

人口9万3千人、面積700平方キロメートルの新豊岡市。改めて見つめてみると、私たちのまちは、すばらしい魅力にあふれています。

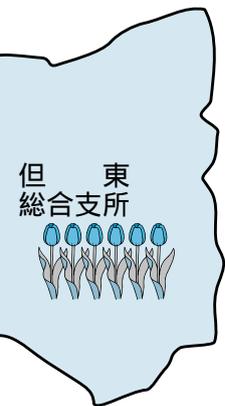
全国有数の鞆の産地であり、コウノトリの野生復帰を目前に控えた豊岡。浴衣が似合う情緒ある温泉街の城崎。『日本の渚百選』美しい砂浜と山海の味覚いっぱい竹野。世界的冒険家・植村直己を生んだアウトドアスポーツのまち日高。『小京都』と呼ばれる城下町で美味しい皿そばが味わえる出石。

シルク産品にチューリップ、そしてグリーンツーリズムの但東。それぞれのまちでこれまで大切に育まれてきた個性が一つに結集します。

お互いの歩んできた道を尊重し、一人ひとりが心を寄せ合い、力を合わせれば、どこにも負けない魅力的な市ができるに違いありません。

昨年の台風23号では、市域全体が大きな被害を受けました。市民の生活は傷つき、里山や小川や水田、そして円山川も傷を負いました。復興への道のりはまだまだ半ばですが、全国からのご支援に答えるべく、一歩一歩前進していかなければなりません。

失われた普通の暮らしを取り戻し、美しいふるさとを再生し、そして、前よりもっとすばらしいまちを創る。そうした大きな目標に向かってスタートは切られました。心を一つにして、光り輝き、誇りに思えるような「豊岡市」を着実に築きあげてまいりましょう。





豊岡市議会議長

## 木谷敏勝



市民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。4月12日に開かれまして第1回豊岡市議会臨時会におきまして、役員の出選が行われ、新豊岡市の初代議長に就任させていただくことになりました。誠に身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。もとより微力ではありますが、市政の伸展と議会の円滑な運営のため、粉骨砕身努力いたす所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、地方分権の推進や三位一体の改革など、地方自治体の行財政を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。また、低成長とグローバル化社会がもたらす多面的かつ複雑な課題を抱えるなか、特に地方においては少子高齢化・過疎化が進行するという非常に困難な時代を迎えています。

さらに、昨年10月に襲来した台風23号により合併を目前に控えた旧1市5町はかつてない甚大な被害をこうむり、新豊岡市は船出から厳しい行財政運営を迫られるものと考えます。

山積する行政諸課題を解決していく

ためには、地域の实情に即した地域社会を形成し、自己決定・自己責任に基づく自立した自治体運営の推進を図る必要があります。

私たち議員は特例法に基づき合併協議で決められた10月31日までの任期があります。被災されました市民の皆様が一日も早く元の暮らしに戻るよう、当面の最優先課題であります災害の復旧・復興に全力を尽くすことと併せ、新市の展望にしっかりと道筋をつけることが、課せられた責務であると強く認識するものであります。

新豊岡市は、人口9万3千人余、面積は約700平方キロメートルと神戸市を抜いて県下で最大の市域となりました。それぞれの地域の歴史や伝統文化、風土などの個性や特色を最大限に活かしながら一日も早く融合し、一体となつて新豊岡市の飛躍発展に市民の英知を結集することが大切です。

新しいまちづくりのスタートに臨み、キャッチフレーズに掲げています「未来創造」豊かな自然と文化を活かしたやすらぎのまち」の創造に市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### それぞれの地域の個性や特色を最大限に活かし

### 新市の飛躍発展に市民の英知の結集を